

第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成27年7月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m ³ /日
埋立地面積	42,900 m ²	汚水調整池容量	1,200 m ³
埋立地容量	391,955 m ³	目標	BOD
技術管理者名	金澤亮	水質	S S
			30 mg/l
			60 mg/l

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	274 t	112 m ³
あわせ産廃 ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t	0 m ³
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	2 t	1 m ³

第Ⅰ期・Ⅱ期埋立処分場残余容量(平成26年度末) 6,496 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

処理水質悪化のため放流中止(7/16~7/30) ※施設内循環処理

分析項目	放流水	地下水A	地下水B	(単位 / PH:- 大腸菌群数:個/cfuf ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)			
				分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.6			シアノ化合物			
生物化学的酸素要求量(BOD)	5.4			全シアノ			
浮遊物質(SS)	3.7			ポリ塩化ビフェニル(PCB)			
大腸菌群数	428			トリクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)				テトラクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				ジクロロメタン			
フェノール類				四塩化炭素			
銅				1,2-ジクロロエタン			
亜鉛				1,1-ジクロロエチレン			
溶解性鉄				シス-1,2-ジクロロエチレン			
溶解性マンガン				1,2-ジクロロエチレン			
クロム				1,1,1-トリクロロエタン			
ホウ素及びその化合物				1,1,2-トリクロロエタン			
フッ素及びその化合物				1,3-ジクロロプロパン			
アソニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物				チウラム			
窒素	57.4			シマジン			
隣	0.1			チオベンカルブ			
アルキル水銀化合物				ベンゼン			
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				セレン及びその化合物			
総水銀				1,4-ジオキサン			
カドミウム及びその化合物				塩化ビニルモノマー			
鉛及びその化合物				ダイオキシン類			
有機燐化合物				塩素イオン			
六価クロム化合物				電気伝導率		11.6	179.2
砒素及びその化合物							

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側の設置井戸より採水。 採水日 平成27年7月31日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

第Ⅲ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成27年7月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m³/日
埋立地面積	16,240 m²	汚水調整槽容量	2,877.4 m³
埋立地容量	97,000 m³	目標	BOD
技術管理者名	金澤亮	水質	S S
			30 mg/l

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	394 t	161 m³
あわせ産廃 ばいじん(下水汚泥焼却)	○ t	○ m³
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	○ t	○ m³

第Ⅲ期埋立処分場残余容量(平成26年度末) 96,085 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

処理水質悪化のため放流中止(7/8~7/28) ※施設内循環

分析項目	放流水	地下水A	地下水B	(単位 / PH:- 大腸菌群数:個/cfuf ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)			
				分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.6			シアノ化合物			
生物化学的酸素要求量(BOD)	11.9			全シアノ			
浮遊物質(SS)	15.5			ポリ塩化ビフェニル(PCB)			
大腸菌群数	45			トリクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)				テトラクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				ジクロロメタン			
フェノール類				四塩化炭素			
銅				1,2-ジクロロエタン			
亜鉛				1,1-ジクロロエチレン			
溶解性鉄				シス-1,2-ジクロロエチレン			
溶解性マンガン				1,2-ジクロロエチレン			
クロム				1,1,1-トリクロロエタン			
ホウ素及びその化合物				1,1,2-トリクロロエタン			
フッ素及びその化合物				1,3-ジクロロプロパン			
アソニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物				チウラム			
窒素	71.3			シマジン			
隣	0.1			チオベンカルブ			
アルキル水銀化合物				ベンゼン			
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				セレン及びその化合物			
総水銀				1,4-ジオキサン			
カドミウム及びその化合物				塩化ビニルモノマー			
鉛及びその化合物				ダイオキシン類			
有機磷化合物				塩素イオン			
六価クロム化合物				電気伝導率		9.9	158
砒素及びその化合物							

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅲ期埋立地上流側、地下水Bは第Ⅲ期埋立地下流側の設置井戸より採水。 採水日 平成27年7月31日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等